

2023年度 学校関係者評価会議

1. 学校関係者評価の概要

1) 目的

- ①卒業生、関係業界、保護者・地域住民などの学校関係者が、健和看護学院の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2) 基本方針（以下4点について評価を実施する）

- 自己点検・評価報告書を基に自己評価の結果の内容が適切かどうか
- 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- 重点的に取り組むことが必要な目標や計画、評価項目等が適切かどうか
- 学校運営の改善に向けた取組が適切かどうか

2. 学校関係者評価委員会 名簿（敬称略）

原田 圭之助	公益財団法人健和会 本部人事部長
三ヶ田 まゆみ	公益財団法人健和会 大手町リハビリテーション病院 副看護部長
首藤 英樹	健和看護学院同窓会つつじの会
荒川 優子	地域住民 代表
渡邊 千春	保護者 代表

3. 開催日 2024年6月27日（木）18：00～ 19：00

4. 学校関係者評価委員会報告

項 目（3.0満点）	評価・意見
I 教育理念・教育目的 自己評価：2.9 <22年度2.9>	○ 2023年度の卒業時アンケート（Google フォームを利用）を実施したが40%の回答しか得られていないとのことでした。時間をかけて全員が回答できるようにされてはどうでしょうか。集計のことを考えると Google フォームが便利なのかもしれませんが、方法も改めて考えられたらどうでしょうか。
II 教育目標 自己評価：3.0 <22年度3.0>	○ 新カリキュラムとなり、3つのポリシー（ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー）が明確で学生にとって分かりやすいと思います。
III 教育課程経営 自己評価：2.7 <22年度2.8>	○ 「評価結果の活用における倫理規定を明確にしている」という項目が倫理規定を作成していないため1点評価となっています。個人を特定しないための規定を作成すればいいのではないのでしょうか。そんなに難しいことではないと思います。 ○ 「教員が相互に成長できるよう相互研鑽のシステムを整えているか」の問いに教員間の授業参観は出来ていないとありました。教員同士での授業参加はハードルが高いのではないのでしょうか。新しく着任した先生には行っているようなので、もっと他の方法はないのでしょうか。
IV 教授・学習・評価過程 自己評価：2.9 <22年度2.8>	○ 目標達成のための評価計画のところで、紙媒体でのアンケート回収率は良いが Google クロームでの授業評価の回答率が悪いとありました。評価方法をもう一度考えてはいかがでしょうか。 ○ 卒業時アンケートと同様、アンケート内容や結果も報告いただければと思います。
V 経営・管理課程 自己評価：2.9	○ 23年度の退学者、原級留置は多いと感じました。昨年度も退学者、原級留置ともに多いと感じましたが、2年連続で多いイメージです。退学者は減っており、理由は「進路変更」が多いとのことですが、退学に進まないようなフォロー

<22 年度 2.9>	ーが大切だと思います。1 年生の再履修生が多いようですが、2 年生になっても大丈夫のようにフォローをしてもらいたいと思います。学生の行動変容に期待しています。 ○ 関係者（保護者等）からの支援とはどのような事を指すのか、考えてもらいたいと思います。寄附以外にも協力支援に繋がることがあると思います。学校に対するご意見を聞いてみるのもいいかもしれません。例えば保護者アンケートとかどうでしょうか。
VI 入学 自己評価：3.0 <22 年度 3.0>	○ 受験生がホームページを見た時にアドミッションポリシーがアップされていたので、どのような学生像を求められているかが分かりやすかったと思います。 ○ 2024 年度の入学者は少なかったようですが、2025 年度は受験者が増えるような取り組みが必要です。
VII 卒業・就業・進学 自己評価：2.4 <22 年度 2.5>	○ 卒業生の就職先での評価は法人内に就職した卒業生については、法人の教育委員会を通じて把握することができるようですが、他に就職した学生の情報を得る方法がないので「2 点」とのことです。1～2 割の学生が外部へ就職するようですが、その学生との繋がりを持って情報収集するのはハードルが高く、相当な労力が必要だと思います。 ○ 卒業生の活動状況の分析結果について具体的な仕組みがないため「1 点」評価となっていました。アンケートを行うことで解決できると思います。アンケートをすることで評価も上がっていくと思います。
VIII 地域社会 / 国際交流 自己評価：2.5 <22 年度 2.6>	○ 「国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えている」という項目が「1 点」となっていました。パソコン室がありネット環境も整っており、図書室に海外文献等も揃えていればもっと評価を上げていいと思います。 ○ 「海外からの帰国学生の受け入れ体制を整えている」の項目も「2 点」でしたが、要望がないだけで帰国子女の入学は可能ではないでしょうか。体制はないが要望があれば応える姿勢であればいいと思います。 ○ 「国際的視野を広げるための授業科目を設定している」という項目が前年の 2 点から 3 点に上がっています。国際的な医療の在り方を学ぶよう設定されているのは評価できると思います。
IX 研究 自己評価：1.3 <22 年度 1.7>	○ 昨年度から一段と評価が下がっています。十分な時間が確保できないのかもしれませんが、出来るところから一つずつ始めてください。来年度の報告に期待します。